

兵庫運河周辺地域の まちの将来像

平成24年12月
兵庫運河活性化会議

1. 「兵庫運河周辺地域のまちの将来像」策定の背景と目的

現在の兵庫運河は、1876年（明治9年）に船舶の避難地として新川運河が竣工し、その後、和田岬を迂回するバイパスとして1899年（明治32年）に兵庫運河全線が完成したもので、日本最大級の運河として、国際港都神戸繁栄の礎となった歴史的遺産である。

現在の兵庫港周辺は平安時代末期に平清盛により港が改修され、以来、瀬戸内海における海運の要衝として栄えてきたが、昭和40年代後半以降は人口の減少や高齢化が進み、昭和50年代に入り、典型的なインナーシティ問題が現れ始めた。

神戸市では、インナーシティ総合整備基本計画のリーディングプロジェクトとして、地下鉄海岸線を整備し、併せて兵庫津の道や新川運河キャナルプロムナードの整備等により、兵庫・長田区南部地域を中心とするインナー地域の活性化に取り組んできた。

今後のさらなる活性化をめざし、地域住民・地域企業・行政の協働による地域資源の活用などをこれまで以上に推進していく必要があるが、とりわけ兵庫運河は100年もの歴史を有する貴重な資源であり、この歴史的資源を活用し、まちの活性化につなげることが重要である。

このようななか、2008年（平成20年）に兵庫運河が国土交通省による「運河の魅力再発見プロジェクト」の認定を受け、兵庫運河およびその周辺地域のまちづくりの方向性をとりまとめた「兵庫運河周辺地域の活性化に関する提案」が2009年（平成21年）5月に市長に提出された。

そして、同年7月に提案の実現に向けて「兵庫運河活性化会議」が設置され、“兵庫運河を核に水と緑にあふれ、人が集い、歴史の息づくまちづくり”を基本コンセプトに取り組みを展開しており、2010年（平成22年）には新川運河キャナルプロムナードの改修、及び、2011年（平成23年）には浜山小学校前プロムナードの整備が行われ、また、2009年（平成21年）より、兵庫運河周辺の景観のルールづくりが検討されている。

神戸市では、2011年（平成23年）2月に策定した「第5次神戸市基本計画 神戸づくりの指針」において、この兵庫運河周辺を「神戸のもつ特性を活かしその魅力に磨きをかけ、神戸のにぎわいや活力の創造を先導するリーディングエリア」のひとつに位置づけ、住み、働き、訪れる人にとって魅力的な世界に貢献するものづくりのまちの創出を目指している。

一方、2012年（平成24年）には、NHK大河ドラマ「平清盛」の放映により、当地域も注目が集まり、歴史館の開館、兵庫運河の歴史クルーズや清盛茶屋等の取り組みにより、観光客等来街者も増え、さらには、中央卸売市場本場西側跡地の事業コンペや中部下水処理場跡地の将来的な活用についての検討も始まり、まちの状況が動き始めている。

そこで、兵庫運河周辺地域のさらなる活性化に向けて、地域住民・地域企業・行政がまちづくりの具体的なイメージを共有し、それぞれの役割のもと協働による取り組みを一層進めていくため、まちを取り巻く現状や課題を整理し、今後取り組むべきまちづくりの方向性も含め、「兵庫運河周辺地域のまちの将来像」をとりまとめる。

兵庫運河概要



兵庫運河は、主に兵庫・新川・苅藻島という3つの運河から成り立っており、水面積の合計は約34ha(兵庫運河：12.0ha、新川運河：5.8ha、苅藻島運河：15.9ha)、延長約6.5kmである。

名称	位置	延長 (m)	幅員 (m)	水深 (m)	水面積 (㎡)
兵庫運河	兵庫区高松町 ～南逆瀬川町	1,660	40～130	2.0～2.5	114,500
兵庫運河支線	長田区東尻池町 ～梅ヶ香町	760	15～25	2.0～2.5	5,700
新川運河	兵庫区島上町 ～今出在家町	1,530	25～110	3.5	57,700
苅藻島運河	長田区苅藻島町	2,200	50～140	3.5	150,000
新湊川運河	長田区苅藻通	320	25～45	2.0～2.5	9,400
計		6,470			337,300

2. 「兵庫運河周辺地域のまちの将来像」のとりまとめの経過

地域住民・地域企業・学識経験者・行政により、平成21年に設置された「兵庫運河活性化会議」では、平成23年度より、各地区を代表した委員の方々を中心に、まちの将来像に関わる地域提案を取りまとめる部会を設置した。さらに、浜山・明親・和田岬地区にお住いのみなさまとまちの現状と課題について情報を共有し、まちの将来について話し合うことを目的にワークショップ（意見交換会）を開催し、その参加者の意見をふまえて、主に兵庫運河及び兵庫運河支線と新川運河を対象とした『兵庫運河周辺地域のまちの将来像』をとりまとめた。ワークショップの開催にあたっては、幅広く意見を頂けるよう、開催案内を各戸配布して参加者を募り、またワークショップで出された意見については、逐次『兵庫運河まちづくりニュース』で報告を行った。

将来像（案）をとりまとめた後、各地区の地域福祉センター等やホームページで資料閲覧を行い、また将来像（案）の概要版を浜山・明親・和田岬地区の各戸に配布して、周知を図った。あわせて将来像（案）の意見募集を行い、24通59件の意見があった。意見及び意見に対する考え方については、将来像とともに市のホームページで公表するとともに、『兵庫運河まちづくりニュース』で報告を行う。

今回の提案のとりまとめに至る経過は以下のとおりである。

◆兵庫運河周辺地域のまちの将来像のこれまでの検討経過

日 時	事 項	概 要
H23. 6. 3 (金) 14:00~16:00	第5回 兵庫運河活性化会議	* 兵庫運河周辺地域のまちの将来像の検討について承認 ・ 兵庫運河活性化会議部会の設置を決定 〔中央卸売市場 卸売場棟 2階 大会議室〕
H23. 6. 23 (木) 18:30~20:00	第1回 兵庫運河活性化会議部会	* 部会の位置づけについて * 今後の進め方について 〔浜山地区まちづくり相談所 2階 会議室〕
この間、まちの将来像の検討に関する進め方について協議		
H24. 1. 9 (月・祝) 14:00~16:00	第2回 兵庫運河活性化会議部会	* まちの将来像の検討に関する目的と役割について再確認 * 今後のスケジュールについての確認 * ワークショップの進め方についての検討 〔浜山地区まちづくり相談所 2階 会議室〕
H24. 2. 25 (土) 14:00~16:30	第1回 兵庫運河周辺地域のまちの将来像について考えるワークショップ	* 兵庫運河周辺地域を取り巻く近年の動きについての説明 * 兵庫運河周辺地域のまちの現状と課題の整理 ・ まちの大事にしたいところや心配なところについて 〔和田岬小学校〕
H24. 3. 20 (火・祝) 14:00~16:00	第3回 兵庫運河活性化会議部会	* 第1回ワークショップで出された意見のふりかえり * 第2回及び第3回ワークショップの進め方の検討 * 今後のスケジュールの検討 ・ ワークショップの開催日時決定及び案内チラシについて 〔兵庫勤労市民センター〕
H24. 3. 28 (水) 14:00~16:00	第6回 兵庫運河活性化会議	* 部会の報告 ・ 第1回ワークショップの開催報告 ・ 今後のスケジュールについての検討 ・ ワークショップに関するニュースの発行について 〔中央卸売市場 卸売場棟 2階 大会議室〕
H24. 3	兵庫運河まちづくりニュース第2号の発行	* 第1回ワークショップの開催報告 * 第2回及び第3回ワークショップの開催のお知らせ 〔各地区・企業等に配布〕

日 時	事 項	概 要
H24. 4. 21 (土) 14:00~16:30	第 2 回 兵庫運河周辺地域の まちの将来像について 考えるワークショップ	* 兵庫運河周辺地域のまちの現状と課題についての確認 (第 1 回ワークショップのふりかえり) * 他地域の取り組み事例の紹介 * 兵庫運河周辺地域のまちづくりのアイデアと今後のまちづくりの大きな方向性についての話し合い 〔和田岬小学校〕
H24. 5. 22 (火) 19:00~21:00	第 4 回 兵庫運河活性化会 議部会	* 第 2 回ワークショップで出された意見のふりかえり * これまでに出されたアイデアに関する事例紹介 * 第 3 回ワークショップの進め方の検討 * 今後のスケジュールについての確認 〔浜山地区まちづくり相談所 2 階 会議室〕
H24. 6. 9 (土) 14:00~16:30	第 3 回 兵庫運河周辺地域の まちの将来像について 考えるワークショップ	* 兵庫運河周辺地域のまちづくりのアイデアについてのテーマ別整理 (第 2 回ワークショップのふりかえり) * これまでに出された意見に関する他地域の取り組み事例の紹介 * 兵庫運河周辺地域のまちの将来像のとりまとめ ・兵庫運河のさらなる活用(水面利用の促進、親水性の向上等) ・周辺資源の活用(歴史資源、JR 和田岬線、中央卸売市場や中部処理場の跡地活用等) ・回遊性の向上(水面及び運河沿いにおける回遊性等) 〔和田岬小学校〕
H24. 6. 28 (木) 19:00~21:00	第 5 回 兵庫運河活性化会 議部会	* 第 3 回ワークショップで出された意見のふりかえり * 今後の進め方についての検討 ・まちの将来像のとりまとめについて ・イメージを伝えるためのパースの作成について * 今後のスケジュールについての確認 〔浜山地区まちづくり相談所 2 階 会議室〕
H24. 7. 12 (木) 14:00~16:00	第 7 回 兵庫運河活性化会議	* 部会の報告 ・第 2 回及び第 3 回のワークショップの開催報告 ・まちの将来像のとりまとめのスケジュールについて ・ワークショップに関するニュースの発行について 〔中央卸売市場 卸売場棟 2 階 大会議室〕
H24. 7	兵庫運河まちづくり ニュース第3号の発行	* 第 2 回及び第 3 回ワークショップの開催報告 〔各地区・企業等に配布〕
H24. 7. 23 (月) 19:00~21:00	第 6 回 兵庫運河活性化会 議部会	* 兵庫運河周辺地域のまちの将来像のとりまとめに向けた検討 ・イメージを伝えるためのパースの検討 ・「兵庫運河周辺地域のまちの将来像」骨子案の検討 * 今後のスケジュールについての確認 〔浜山地区まちづくり相談所 2 階 会議室〕
H24. 8. 6 (月) 19:00~21:00	第 7 回 兵庫運河活性化会 議部会	* 兵庫運河周辺地域のまちの将来像のとりまとめに向けた検討 ・イメージを伝えるためのパースの確認 ・「兵庫運河周辺地域のまちの将来像(案)」の検討 * 今後のスケジュールについての確認 〔浜山地区まちづくり相談所 2 階 会議室〕
H24. 8. 28 (火) 14:00~16:00	第 8 回 兵庫運河活性化会議	* 部会の報告 ・「兵庫運河周辺地域のまちの将来像(案)」の検討 ・「まちの将来像(案)」の周知、意見募集について ・今後のスケジュールについての確認 〔中央卸売市場 卸売場棟 2 階 大会議室〕
H24.10.1 (月) ~15 (月)	将来像(案)の 周知及び意見募集	* 「兵庫運河周辺地域のまちの将来像(案)」についてのお知らせと意見募集について ・浜山・明親・和田岬地区に概要版を配布 (約 13,800 戸) ・浜山・明親・和田岬地区の地域福祉センター、兵庫区役所での資料閲覧 ・神戸市ホームページでの資料閲覧
H24.12.3 (月) 14:00~16:00	第 9 回 兵庫運河活性化会議	* 「兵庫運河周辺地域のまちの将来像」のとりまとめ ・意見募集結果、意見に対する考え方について (24 通、59 件) ・将来像のとりまとめについて 〔中央卸売市場 卸売場棟 2 階 大会議室〕

◆兵庫運河活性化会議



◆兵庫運河活性化会議部会



◆兵庫運河周辺地域のまちの将来像について考えるワークショップ（意見交換会）



3. 兵庫運河周辺地域の現状と課題

◆現状

兵庫運河はかつて貯木場やはしけ運搬の水路等として利用されていたが、現在では、港湾物流活動としての利用も限られており、水上スポーツの場などとして新たな活用が始まっている。

運河周辺には、神戸港開港以前の「大輪田泊」や「兵庫津」にまつわる数多くの歴史観光資源が点在し、新川運河キャナルプロムナードや浜山小学校前プロムナード、兵庫津の道が整備されており、現在、兵庫運河およびその周辺では、キャナルレガッタ等の水上スポーツイベントや兵庫運河祭、和田岬砲台ウォーク（現在は砲台が改修中のため休止）などの歴史資産を活用したイベントが行われている。

また、世界に誇るものづくりのまちとして発展し、現在も最先端の技術を有する産業が集積していることも、当地域の特徴のひとつである。

さらに、集客施設としてホームズスタジアム神戸の他、中央卸売市場本場西側跡地、中部下水処理場など将来的な活用が期待される大規模な敷地について、事業コンペやワークショップにより、その活用方法について検討がなされている。

神戸市では、「デザイン都市・神戸」を文化及び豊かな想像力をデザインの視点で、継続的に成長し続ける創造都市としており、その一環として、2009年10月には、UNESCOの国際ワークショップ「WAT 神戸（WAT: Workshop_atelier_terrain）」が開催され、JR和田岬線の線路上に軸を作り、既存の空地や公園を利用して緑のネットワークを構築することで、分断された地域をつなごうという計画案が1位表彰された。

一方、安全・安心の確保の点では、2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災以降、神戸市では、兵庫県が公表した「津波被害警戒区域図（暫定）」をもとに、津波被害警戒区域において、地域津波防災計画の見直し・策定を進めており、当地域の明親地区、和田岬地区、浜山地区で津波防災マップづくりが始まっている。

◆課題

兵庫運河水面の利活用にあたっては、現在、浜山小学校前にて、レガッタやボートでの探検ツアー等の活動が行われているが、兵庫運河の水面利用の促進の観点からは、JR和田岬線の旋回橋の部分において、橋脚や桁高が改善されることにより、活動範囲の拡大が期待される。また、住吉橋のたもとで行われている真珠貝プロジェクトの活動が、兵庫運河における環境教育の拠点として活動を展開していくことにより、兵庫運河の親水性の向上にもつながる。

回遊性の向上にあたっては、これまでに、新川運河キャナルプロムナードの改修、および浜山小学校前プロムナードの整備が実施され、今後、その間をつなぐことによる兵庫運河沿いの回遊性の向上が望まれるが、その東西のプロムナード整備については、和田岬線の横断が一つの課題となっている。また、当地域においては南北動線の回遊性の向上、特に、歩行者や自転車交通の運河横断が大きな課題でもある。

周辺資源の活用にあたっては、中央卸売市場や中部下水処理場の跡地活用の検討が始まっており、こうした集客拠点と兵庫運河の連携や、地域に点在する歴史資源などの魅力発信を強化していく必要がある。また、JR和田岬線については、現在、主に周辺企業の従業員の足として、平日は朝7本、夕方10本（土曜は朝6本、夕方6本 日曜は朝1本、夕方1本）運行されているが、昼間は運行されていないため、地域住民は利用ができない状況である。

◆兵庫運河周辺の地域資源



かつての兵庫運河



復興ものづくり工場、
運河沿い企業



川崎重工業 兵庫工場



0系新幹線と特急こだまの展示



初代県庁跡



清盛塚、琵琶塚



兵庫大仏



和田岬砲台



大輪田橋



大輪田橋 親柱 八尾善四郎像



兵庫津の道



新川運河
キャナルプロムナード



浜山小学校前プロムナード



保存されている神戸市電



JR 和田岬線 旋回橋



浜山小学校前の水面利用



浜山小学校とホームスタジアム



ホームスタジアム周辺
のジョギングコース



笠松商店街



中央卸売市場

◆これまでの地域等の取組み

①兵庫運河祭（平成13年度～）



②清盛フェスタ（平成16年度～平成20年度）



③防潮堤水族園（平成18、19年度）



④兵庫キャナルレガッタ（平成17年度～）



⑤コンクリートカヌー競技大会（平成19年度）



⑥運河 de ジャズ（平成17年度）



⑦兵庫運河周辺“ものづくり”工場まち歩き（平成23年度）



⑧和田岬砲台ウォーク（平成15年度）



⑨案内板の設置（平成18、23年度）



⑩兵庫運河 真珠貝プロジェクト（平成19年度～）



⑪まちかどクリーン作戦（平成22年度～）



⑫兵庫運河探検エコツアー（平成21年度～）



⑬パドルボード水上さんぽ (平成 24 年度～)



⑭歴史クルーズ&ウォーク(平成 23 年度～)



⑮清盛茶屋(平成 23、24 年度)



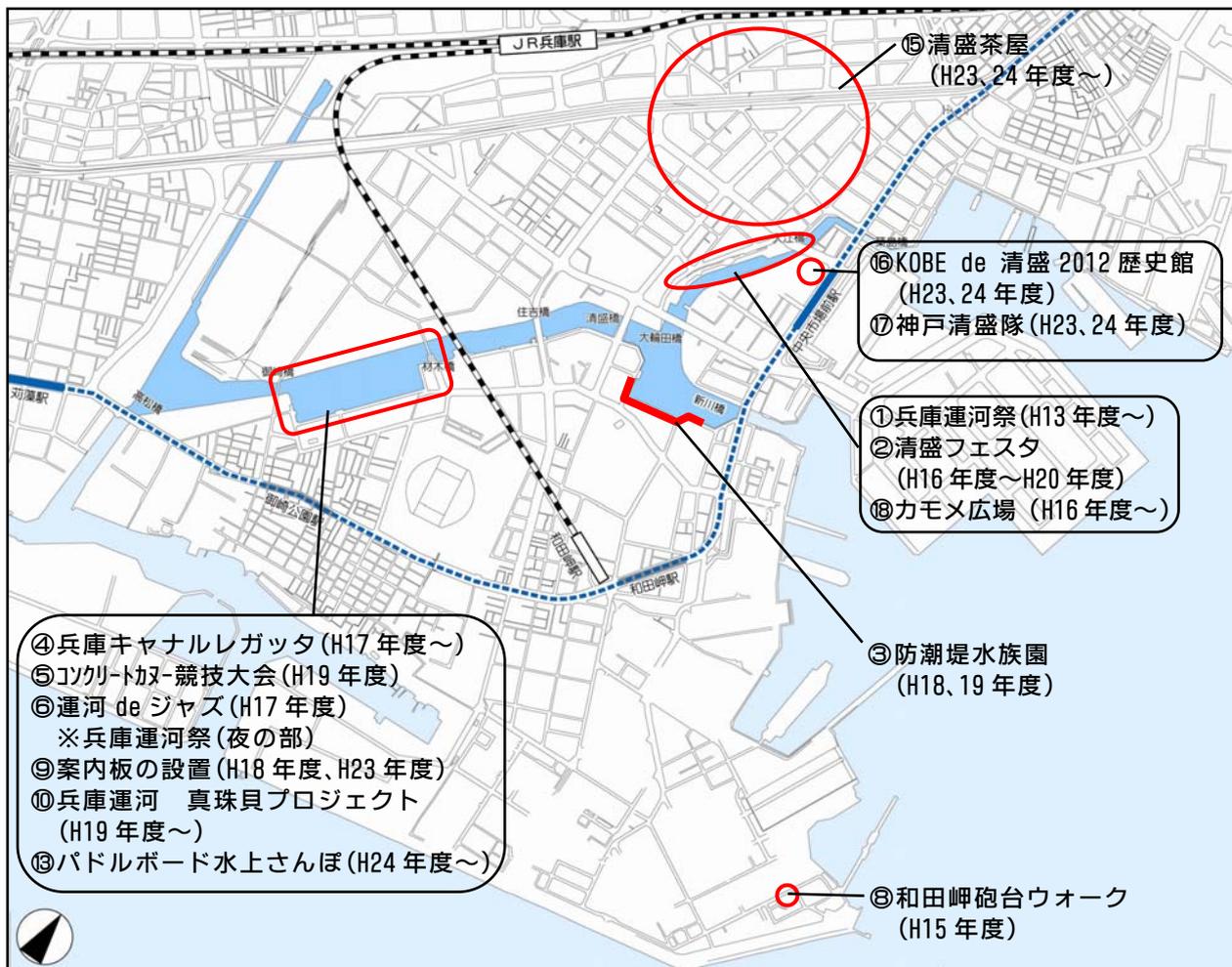
⑯KOBE de 清盛 2012 歴史館(平成 23、24 年度)



⑰神戸清盛隊(平成 23、24 年度)



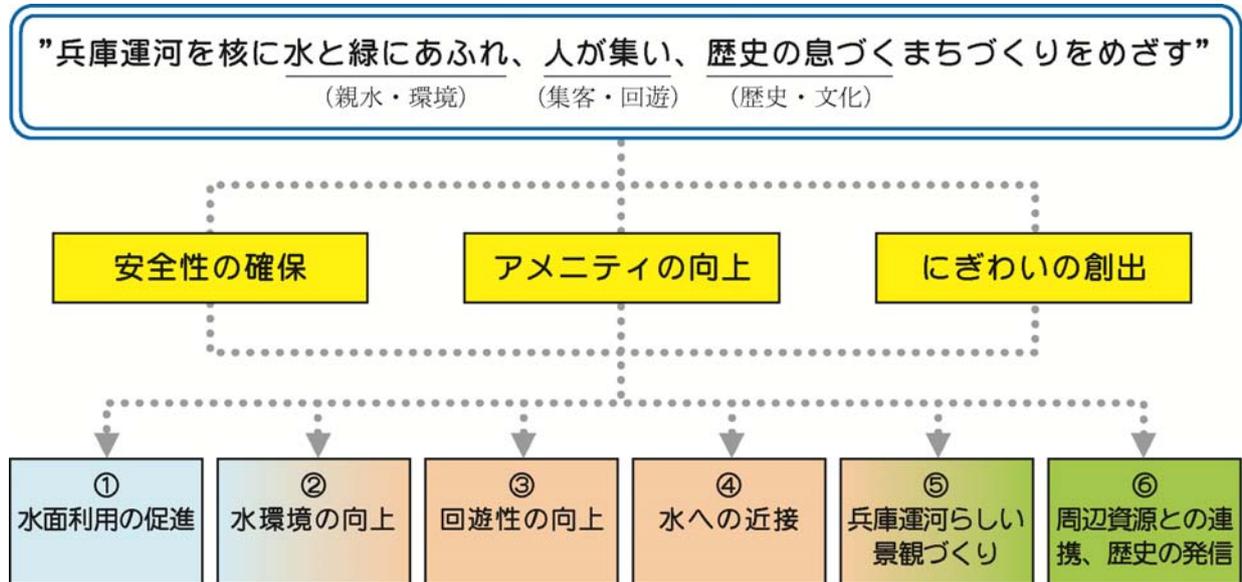
⑱カモメ広場 (平成 16 年度～)



4. まちづくりの基本コンセプトとまちづくりの視点

◆基本コンセプト

「兵庫運河周辺地域の活性化に関する提案」では、以下に示すとおり、まちづくりの方向性を明らかにするための基本コンセプトを定め、それを具現化する個々の取り組みを考えるための3つの視点、それらを踏まえた6つのテーマを設定している。



◆まちづくりの3つの視点

まちづくりの基本コンセプトである「親水・環境」、「集客・回遊」、「歴史・文化」を具体化する個々の取り組みについて考えるにあたり、次に掲げる視点を持つことが必要である。

①安全性の確保

老朽化した施設の改修や、自然災害に対する備えを進め、運河を利用する人びとが安全・安心に集い、過ごすことのできる環境を確保する。

②アメニティの向上

運河周辺における回遊性の向上や、運河へのアクセス性の向上により、運河周辺地域での人の流れを活性化し、運河をめぐる新たな移動軸を創出する。

③にぎわいの創出

レガッタ大会など、イベントの開催による情報発信や、周辺に点在する史跡、ものづくりの拠点など地域資源の活用により、運河周辺地域の特性をPRし、内外の人びとの興味を喚起する。

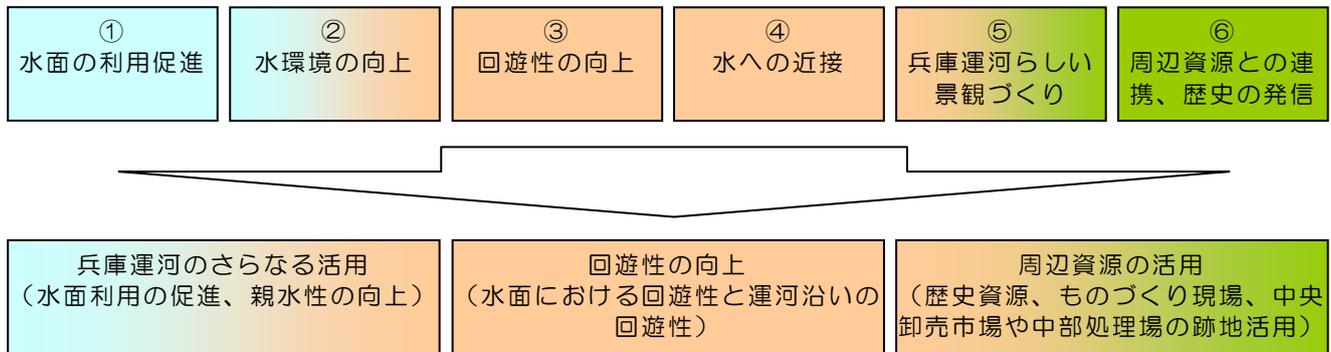
神田兵右衛門や八尾善四郎などの地域の篤志家により開削され、国際港都神戸の繁栄の礎となった兵庫運河は地域の貴重な財産であり、これを地域のシンボルとし、これからのまちづくりの核とする。

さらに兵庫運河を緑にあふれた憩いの水辺空間とし、運河沿いの回遊性を高めていくことにより、魅力的な空間をつくり出す。また、兵庫津の名残を感じさせる史跡や、日本最先端の技術を有するものづくりの拠点を地域資源として活用していく。

これを基に、提案の内容を無理なく漸進的に具体化していくために、まずは先行的に新川運河キャナルプロムナードの改修、浜山小学校前プロムナードの整備、兵庫運河周辺の景観のルールづくりの検討を実現してきた。

今後、さらなる具体化のため、テーマの絞りこみと兵庫運河周辺地域のゾーニングを行った。
 なおゾーニングにあたっては、景観のルール検討の中で示された、兵庫運河、和田岬線を主たる眺望軸とし、特色ある5つのゾーンわけを参考に設定する。

<テーマの絞込み>



◆兵庫運河周辺地域の2つの空間軸と5つのゾーン

◎兵庫運河周辺地域の2つの空間軸

①水の軸（兵庫運河）

都心ウォーターフロントと連続する「兵庫運河ウォーターフロント」の中心を横断する兵庫運河は、当地域の主要な『水の軸』として、親水性と回遊性の向上をめざし、新たな活用が望まれる。

レガッタなどの水上スポーツ・レクリエーションや兵庫運河祭などのイベントが行われる親水空間として、水面利用のルールをつくった上で、その利用の促進を図る。

また、遊覧船を活用するなどの水面の回遊性の向上を進めるとともに、運河沿いのプロムナードの整備などにより、水辺の回遊性の向上を図る。

②眺望の軸（和田岬線）

六甲山系の山並みへの眺望が確保され、当地域の中心を南北に横断する和田岬線は、主たる眺望軸として位置づけられ、和田岬線が廃線となった場合、兵庫運河の南北方向の歩行者や自転車の回遊性の向上を図るとともに、散策やジョギングなどを楽しむ新たな憩いの空間を創出することが望まれる。

また、JR 兵庫駅から兵庫運河、ホームズスタジアム、兵庫駅南公園から御崎公園、和田神社へとつながる地域の緑のネットワークが形成されるとともに、和田岬線のプロムナード化やさらなる運河沿いプロムナード化により、地域の分断感の解消が図られる。

さらに、JR 兵庫駅や地下鉄海岸線の各駅を起点に、兵庫津の道や平清盛ゆかりの史跡など歴史資源やものづくり産業に関する資源をつなぐ歴史街道に、また、水と緑あふれるウォーキングコースとなることで、周辺のにぎわい拠点と連携した観光・集客による活性化が望まれる。

◎兵庫運河周辺地域の5つのゾーン

①歴史ゾーン

清盛塚、兵庫大仏、柳原蛭子神社をはじめとする、地域の歴史資源が点在するゾーンであり、それらを兵庫津の道がつないでいる。

平成 24 年から、大河ドラマで「平清盛」が放映されていることから、地域外から多くの観光客が訪れている。これらの歴史資源を巡る回遊ルートとして、さらには、兵庫運河やにぎわ

いゾーン、スポーツ・レクリエーションゾーンへと誘うアクセスルートとして、地域全体のサイン計画、歴史を感じるストリートファニチャー等景観面にも配慮する。

②スポーツ・レクリエーションゾーン

当地域の集客拠点であり、スポーツ・レクリエーションの核となるホームズスタジアム、及びレガッタなど水上スポーツの拠点である浜山レガッタコースを中心に、和田神社、御崎公園、中部下水処理場跡地など、緑の軸を一体的につなぐことにより、市民だけでなく、地域内外の方も楽しめる空間とする。

③にぎわいゾーン

中央卸売市場本場に加えて、本場西側跡地の活用により、ホームズスタジアムと並ぶ当地域の集客拠点としての整備を進める。

本場西側跡地の活用に合わせて、運河沿いにおいては、人が憩い、楽しめる施設やプロムナードが整備され親水性が高まることから、運河の水面も含めた活用により、にぎわい空間を創出する。

④ものづくりゾーン

三菱重工業、三菱電機、川崎重工業、富士通テンなど世界に誇るものづくり産業の振興を図るとともに、その技術を広く世界へ発信する産業観光を推進する。

⑤住工共存ゾーン

ものづくりゾーンを支える町工場と住宅が共存し、子どもから高齢者まで安心して快適に暮らせる住みよいまちづくりを進める。

兵庫運河周辺地域のまちづくりの基本方針

100m 200m 500m 1,000m

住工共存ゾーン

ものづくりゾーンを支える町工場と住宅が共存し、子どもから高齢者まで安心して快適に暮らせる住みよいまちづくりを進める。



歴史ゾーン (清盛塚周辺)



清盛塚、兵庫大仏、柳原蛭子神社をはじめとする、地域の歴史資源が点在するゾーンであり、それらを兵庫津の道が貫いている。平成24年から大河ドラマで「平清盛」が放映されていることから、地域外から多くの観光客が訪れている。これらの歴史資源を巡る回遊ルートとして、さらには、兵庫運河やにぎわいゾーン、スポーツ・レクリエーションゾーンへと誘うアクセスルートとして、地域全体のサイン計画、歴史を感じるストリートファニチャー等景観面にも配慮する。

にぎわいゾーン (本場西側跡地)

中央卸売市場本場に加えて、本場西側跡地の活用により、ホームスタジアムと並ぶ当地域の集客拠点としての整備を進める。本場西側跡地の活用に合わせて、運河沿いにおいては、人が憩い、楽しめる施設やプロムナードが整備され親水性が高まることから、運河の水面も含めた活用により、にぎわい空間を創出する。

眺望の軸 (和田岬線)



六甲山系の山並みへの眺望が確保され当地域の中心を南北に横断する和田岬線は、主たる眺望軸として位置づけられ、和田岬線が廃線となった場合、兵庫運河の南北方向の歩行者や自転車の回遊性の向上を図るとともに、散策やジョギングなどを楽しむ新たな憩いの空間を創出することが望まれる。また、JR兵庫駅から兵庫運河、ホームスタジアム、兵庫駅南公園から御崎公園、和田神社へとつながる地域の緑のネットワークが形成されるとともに和田岬線のプロムナード化やさらなる運河沿いプロムナード化により、地域の分断感の解消が図られる。さらに、JR兵庫駅や地下鉄海岸線の各駅を起点に、兵庫津の道や平清盛ゆかりの史跡など歴史資源やものづくり産業に関する資源をつなぐ歴史街道に、また、水と緑あふれるウォーキングコースとなることで周辺のにぎわい拠点と連携した観光・集客による活性化が望まれる。

スポーツ・レクリエーションゾーン



当地域の集客拠点であり、スポーツ・レクリエーションの核となるホームスタジアム、及びレガッタなど水上スポーツの拠点である浜山レガッタコースを中心に、和田神社、御崎公園、中部下水処理場跡地など、緑の軸を一体的につなぐことにより、市民だけでなく、地域内外の方も楽しめる空間とする。

レガッタ (浜山小学校前)

水の軸 (兵庫運河)

都心ウォーターフロントと連続する「兵庫運河ウォーターフロント」の中心を横断する兵庫運河は、当地域の主要な『水の軸』として、親水性と回遊性の向上をめざし、新たな活用が望まれる。レガッタなどの水上スポーツ・レクリエーションや兵庫運河祭などのイベントが行われる親水空間として、水面利用のルールをつくった上で、その利用の促進を図る。また、遊覧船を活用するなどの水面の回遊性の向上を進めるとともに、運河沿いのプロムナードの整備などにより、水辺の回遊性の向上を図る。




ものづくりゾーン




産業景観
三菱重工業、三菱電機、川崎重工業、富士通テンなど世界に誇るものづくり産業の振興を図るとともに、その技術を広く世界へ発信する産業観光を推進する。

産業観光



5. まちづくりのテーマにおける取り組み

まちづくりの基本コンセプトにより、3つのテーマのもと、以下のとおり取り組みの方向性を示す。

①兵庫運河のさらなる活用

- * 水面利用の促進
- * 親水性の向上

かつて貯木や水運に利用されていた兵庫運河であるが、産業構造の変化などにより、運河水面の利用者、利用形態も様変わりしており、浜山小学校前では「兵庫キャナルレガッタ」が、住吉橋周辺では「兵庫運河 真珠貝プロジェクト」が、新川運河では「兵庫運河祭」などが開催されている。

今後、安全性を確保しながら運河の水面利用を促進するとともに、運河の水環境の向上に努め、運河を環境教育の場として活用するなど、さらなる運河の魅力を高めていく。

②回遊性の向上

- * 水面における回遊性
- * 運河沿いの回遊性

運河周辺の人の流れを活性化するために、運河へのアクセスを高めるとともに、兵庫運河全体の回遊性を高めていく。

③周辺資源の活用

- * 歴史資源
- * ものづくり現場
- * 中央卸売市場や中部下水処理場の跡地活用

兵庫運河周辺に点在する歴史資源や産業資源、集客施設を兵庫運河とネットワークし、兵庫運河周辺地域の魅力アップに取り組むとともに、奈良時代にさかのぼるこの地域の歴史を発信していく。

また、中央卸売市場や中部下水処理場の跡地活用にあわせた、にぎわいづくりを行っていく。

上記の方向性をふまえ、水の軸と眺望の軸について、具体的な将来イメージを示す。

【パース①】 運河支線の北側突当り

運河の支線の北側突当りに親水広場とし、運河を背景とした円形ステージでは、音楽祭等のイベントを開催することにより、運河北端のにぎわい拠点とします。

ポンツーンを設ければ、ボート等で運河の支線を上ってきた人も親水広場が利用できるようになり、兵庫運河における水面利用の促進、回遊性の向上が図れます。

また、川崎重工の引込線では搬出される新造車両を眺めることにより、“ものづくりのまち”兵庫を体感することもできます。



【パース②】 運河支線

運河の支線をボート等が回遊することにより、水面利用の促進を図るとともに、地域の魅力資源である川崎重工の0系新幹線やこだまの展示を運河からも眺めることができます。

また、つた系植物による護岸の緑化などにより、運河の背景としてのみどりの充実が図られます。



【パース③】 高松橋からの眺望

高松橋は兵庫運河に架かる橋の中でも、絶好の眺望ポイントのひとつです。

御崎橋方面の兵庫運河と運河の支線がつながる開かれた運河の景観、その背後に広がる市街地と六甲山系の山並みへの眺望、そして、水面利用が促進されれば、ボートや遊覧船が航行する風景が望めます。

また、時には、正面の川崎重工から新造車両をクレーンにより台船に搬出する、兵庫運河ならではのワンシーンを見ることができます。

運河沿いの不二製油の敷地には、桜並木が植樹されており、春には運河に彩りを添えます。



【パース④】 和田岬線旋回橋付近

当地域の課題である南北方向の回遊性の向上と運河における水面利用の促進のため、和田岬線がプロムナード化され、旋回橋が人道橋などに架け替えられれば、運河の一部を拡幅することができ、船の航行も可能となります。

また、これまでに整備された浜山小学校前プロムナードと新川運河キャナルプロムナードをつなぐようプロムナードを整備すれば、運河沿いの回遊性の向上が図られます。



【パース⑤】和田岬線のプロムナード化

枕木を活用した花壇や踏切をイメージしたストリートファニチャー、駅の表示板をモチーフとした案内サイン、線路をイメージした舗装等により、和田岬線の面影を感じられるプロムナードとします。

地域の南北移動の動線としてだけでなく、散歩やジョギング、サイクリングを楽しむ人、ベンチで休憩する人など、地域住民（市民）の憩いの場となることが期待されます。

沿道には、桜等の並木や四季折々の花を楽しむ花壇を配し、六甲山系の山並みへの眺望とあわせて、当地域の緑の軸となります。



【パース⑥】住吉橋周辺

すでに整備された浜山小学校前プロムナードと新川運河キャナルプロムナードをつなぐプロムナードを既存の道路空間を活用して整備することにより、運河沿いの回遊性（東西方向）の向上が図られます。

プロムナード沿いには、真珠貝プロジェクトが活動するポンツーンがあり、ここを拠点に、水辺における環境教育を推進します。

また、遊覧船の運航を推進し、運河水面における回遊性の向上を図ります。



【パース⑦】新川運河キャナルプロムナード

改修された新川運河キャナルプロムナードでは、現在、兵庫運河祭が開催されていますが、クラフト作家やカフェなどが出店する“パラソルショップ”やフリーマーケット、移動販売車等によるイベント開催など、プロムナードのさらなる活用を図り、対岸の商業施設と連携したにぎわいづくりを進めていきます。



【パース⑧】新川運河両岸

中央卸売市場本場西側跡地では、商業施設を核としたにぎわい拠点としての整備が今後進められます。

隣接する中央卸売市場と連携した食文化の発信、新川運河を活かしたプロムナードやオープンカフェ等による新たな親水空間の創出等、中央卸売市場本場西側跡地の商業施設と新川運河キャナルプロムナードと一体となったにぎわい拠点づくりを進めていきます。



【パース⑨】新川橋を通る遊覧船

現在、NHK大河ドラマ「平清盛」放映に合わせて、中突堤より運航されている“浪漫号”はこの新川橋を通り、兵庫運河に入ってきます。

現在架け替え工事中である新川橋は、景観や歴史に配慮されたデザインとなり、外海より兵庫運河へといざなう玄関口となります。



6. 今後の展開

兵庫運河周辺地域のまちの将来像として、「兵庫運河を核に、水と緑にあふれ、人が集い、歴史の息づくまちづくりを目指すこと」を基本コンセプトに、「安全性の確保」、「アメニティの向上」、「にぎわいの創出」の3つの視点でまとめてきた。

また、将来像のさらなる具体化のため、テーマを、「兵庫運河のさらなる活用（水面利用の促進、親水性の向上）」、「回遊性の向上（水面における回遊性と運河沿いの回遊性）」、「周辺資源の活用（歴史資源、ものづくり現場、中央卸売市場や中部処理場の跡地活用）」に絞込み、2つの空間軸と5つのゾーニングを定め、3つのテーマに基づいて取り組みの方向性や具体的な将来イメージを示してきた。

この将来像のとりまとめにあたっては、ワークショップの実施やまちづくりニュースの発行、意見募集を通じ、地域住民に広く周知・PRし、様々な意見を聴くことができた。その検討において、兵庫運河周辺の回遊性の向上や兵庫運河における水面利用を図るためには、和田岬線のあり方が大きく関わることが判明した。和田岬線に関して「イベント列車の運行や昼間運行」「中間駅の新設」などの意見に対しては、JR西日本と協議を行ったが、現在の利用実態から利用者の大幅な増加は見込めず、また大幅に増加する費用が課題となることから、それらを前提とした『まちの将来像』を作成するには至らなかった。また、それ以外にも「運河の水面利用促進や回遊性の向上を図るには旋回橋が邪魔」、「旋回橋は歴史的構造物であり観光資源として利用すべき」など、和田岬線については様々な意見があった。こうしたことから、この将来像では運河周辺の回遊性の向上と運河の水面利用を促進し、賑わいを創出するというまちづくりの方向性に沿った将来イメージとして、和田岬線を廃線した場合のイメージを示したものととどめた。ただし、和田岬線のあり方は関係する企業や利用者など様々な関係者がいる中で地域住民だけで決定することは難しく、和田岬線のあり方について結論付けない。

運河の水面利活用については、レガッタや真珠貝プロジェクトなど既存の活動を展開し、安全性の確保や水環境の向上を図りながら、さらなる運河の魅力を高めていく。

この「まちの将来像」に基づいた兵庫運河周辺地域のさらなる活性化に向けては、兵庫運河周辺地域に係る地域住民・地域企業・行政がまちづくりのイメージを共有し、それぞれの役割のもと、共に協力しながら継続的に取り組む－「協創」－の取り組みによって、はじめて実現が可能となるものである。今後は、この協創による取り組みを推し進め、兵庫運河周辺地域が魅力と活力に満ちた地域となるよう実現に向けた取り組みを早期に進めていく必要がある。

【参考資料】 ワークショップで出された主な意見

■第1回ワークショップで出された意見のテーマ別の整理

◎兵庫運河に関する意見

テーマ	よいところ	気になるところ
水面利用について	<ul style="list-style-type: none"> * 運河の水面利用を拡大 * 幅が広くなり、運河と港がつながった * 新川運河の水面利用 <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと利用する ・砂浜、プロムナード * 運河の水面利用 <ul style="list-style-type: none"> ・屋形船や遊覧船の運航 ・通船（神戸港～空港） * 兵庫運河は日本に誇れる環境 <ul style="list-style-type: none"> ・日本一の兵庫運河 ・まちのシンボル、まちの誇り 	<ul style="list-style-type: none"> * 不法繫留の問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運河の水面利用 ・ 不法係留船の禁止 ・ 廃船の処理をして運河ペリを整備 * 運河の不法繫留
親水性について	<ul style="list-style-type: none"> * 兵庫運河に親水空間をつくる * 運河にもっと親しめる空間を * 運河が危なくなってきた * 親水性を保つならば、防潮堤をし、水門を3箇所ほど設置する * 運河に大きな公園があれば(例:桜通り) 	<ul style="list-style-type: none"> * 新川から梅ヶ香町まで、運河の一体感に欠ける
運河の景観について	<ul style="list-style-type: none"> * 運河と市街地の風景のマッチング * 周辺の風景はすばらしく、大切にしたい * 運河から山までを見渡せるところ * 空が見える、山も見える * 橋の上からの眺めが良い（夕日とか） * 高松橋から見た北側の景観 * 川崎重工の電車も見える * 木場の風景を残したい * 運河もトイレが出来て、きれいになって、うれしい 	<ul style="list-style-type: none"> * 防潮堤で一部運河が見えないところがある * 和田岬線の線路際の美観が悪い
運河の水質・環境について	<ul style="list-style-type: none"> * 水がきれいになった <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔は「キタナイ・クサイ」イメージ ⇒きれいになって良かった！ * 真珠貝の活動 * 美しい運河（兵庫運河、水辺の存在） * 兵庫運河が（臭い・ゴミ）きれいになったので、歩きやすくなった * 臭いがなくなった * 魚も見える、気持ちが良い * 水・運河を大切に!! <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近水がきれいになっている 今後なお一層美しく！ ・ 入江橋付近で自然発生するボラ ⇒観光資源に取り入れたい 	<ul style="list-style-type: none"> * 運河にヘドロが溜まっている <ul style="list-style-type: none"> ・ キャナルプロムナードの所へは、 雨水の大きな溝が流入しており、 これによって流出した土砂が運河を埋めている * 運河への汚水流入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新川運河に旧小河通の河の水が入水 ・ 汚れているので対策を考えて欲しい * 新川プロムナードの南側にゴミ * 明治橋の下の運河 <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚い ・ 忘れられた場所

◎兵庫運河周辺地域の資源について

テーマ	よいところ	気になるところ
歴史	<ul style="list-style-type: none"> * 歴史（清盛塚） <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史と観光 ・ 歴史ある清盛塚のさらなる整備 	<ul style="list-style-type: none"> * 多くの史跡等を有するも、他地域からの来街者は少ない * 出在家町の大川神社(忘れられた場所)

テーマ	よいところ	気になるところ
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・清盛塚 ・歴史のまち（歴史資源が豊富） ・和田神社、三石神社の存在 ・清盛の時代～江戸時代の歴史資源 ・砲台がある 	<ul style="list-style-type: none"> * 和田岬砲台を一般開放してほしい * 観光客の対応で、清盛塚の横にトイレがあるといいのに！ * 観光優先だけでなく、生活環境との共生
ホームズ スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> * スタジアムがあることがまちの誇りであり、まちのシンボル * この地域を紹介するとき、スタジアムを挙げているので、色々な催しをして人を集めて欲しい 	
ものづくりの まち	<ul style="list-style-type: none"> * せっかくあるのに… ・歴史と工場で栄えてきたまち これをもっと発展させてほしい * 県工の存在はまちのほこり ・歴史ある県工 ・地元企業人を地元で育成してきた 	<ul style="list-style-type: none"> * 工場が次々と撤退し、さびしい * 地元企業・工場の移転、撤退 ・最近工場の移転がよく見られる ・最近工場移転がよく見られ、淋しい ・工場の縮小、撤退 ・三菱重工では造船をしなくなる ・三菱商船、バンドー化学、富士通テン * 地元に密着した企業の縮小 ⇒地域の雇用、活性化減
JR和田岬線	<ul style="list-style-type: none"> * 和田岬線の活用方法を考える ・子供達に考えて欲しい （夢のあるアイデア） ・観光資源として活用 ・昼間にお客を乗せる ⇒観光資源としての和田岬線 * 和田岬線 ・歴史的構造物（高松橋、回旋橋） ・他府県のマニアが見学 ・JR回旋橋の保存（南側出島） ・回旋橋の出島 * 和田岬線は残したい ・和田岬駅ホームからの景観 （高取山方面） ・和田岬線のローカルさ * 和田回旋橋は産業遺産 	<ul style="list-style-type: none"> * 和田岬線の利用を地元でも考えないと！ * 和田岬線の利用者を増やす
中央卸売市場	<ul style="list-style-type: none"> * 中央卸売市場跡のこれから ・市場跡の景観に期待する ・大輪田橋の欄干飾りが昔はよかった ・昔市場跡の北側には、木の橋が3つあった ⇒跡地利用で復活してほしい * 中央卸売市場の活用 	
兵庫運河に かかる橋	<ul style="list-style-type: none"> * 清盛橋 ・日本で一つの「清盛橋」の整備 * 新川橋 ・運河の活性化にアピールをする ・カラフルに 	<ul style="list-style-type: none"> * 大輪田橋 ・戦災の歴史、震災の歴史 ・大輪田橋がどうなるのか残してほしい
跡地や空きビルの 活用	<ul style="list-style-type: none"> * 中部処理場跡地の利用 * ガデリウスビルの活用 	
産業	<ul style="list-style-type: none"> * アナゴが有名 	

◎兵庫運河周辺地域における活動について

テーマ	よいところ	気になるところ
レガッタ	<ul style="list-style-type: none"> *レガッタコースはまちの誇り、まちのシンボル *レガッタの練習風景 *レガッタをもっとPRすればいいのに 	<ul style="list-style-type: none"> *レガッタの艇庫がどうなるのか心配
地域の伝統行事の継承	<ul style="list-style-type: none"> *出在家町の子供みこし *生田さんみこし *昔ながらの地蔵盆等があるところ 	

◎兵庫運河周辺地域の魅力の発信

テーマ	よいところ	気になるところ
ホームズスタジアムのPR	<ul style="list-style-type: none"> *ウイングスタジアムの知名度アップ! *運南地域を知らない人が多かったので、今は有名になっているのでうれしい!(スタジアムで) *スタジアムをもっとPR!! 	<ul style="list-style-type: none"> *外部の人には場所がわかりにくい ⇒スタジアムのピーアール
兵庫津の道のPR	<ul style="list-style-type: none"> *津の道のPR *新川橋竣工記念ウォークラリー ⇒津の道に入れる 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> *出在家町の浜本陣の町、戦災記念碑等を残して欲しい *戦災資料館の建設 	

◎兵庫運河周辺における回遊性に関する意見

テーマ	よいところ	気になるところ
兵庫運河の水面における回遊性について	<ul style="list-style-type: none"> *必ずしも鉄道橋が水面の回遊性を限定しているわけではない *運河の幅を広げると、通行は楽になる 	<ul style="list-style-type: none"> *鉄道橋の柱、水面の幅が狭く、高さが低い ⇒カヌー・レガッタはOK ⇒屋形船は難しい *回旋橋が邪魔
*運河沿いの回遊性(プロムナード等)	<ul style="list-style-type: none"> *プロムナードをつなげる <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道をつなげればもっといい! ・遊歩道が浜山→和田岬とつながればいいなと思う ・プロムナードがつながれば良い *浜山小学校周辺運河が大変きれいになり、散歩しやすくなった *運河もトイレが出来て、きれいになって、うれしい。レガッタに来る人に恥ずかしくないよう、いつまでも続けていきたい *浜山プロムナードが最近非常にきれいになった *運河東側の遊歩道がきれいになって散歩しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> *浜山、新川のプロムナードが整備されたが、分断されているのは残念 *運河へのいざないが不十分(看板、防潮堤) *プロムナードに桜(植木) *トイレの整備

◎生活環境・まちに関する意見

テーマ	よいところ	気になるところ
まちの少子高齢化・人口減	<ul style="list-style-type: none"> * 若い人が増えたように思う（新しいマンション） 	<ul style="list-style-type: none"> * 少子高齢化・人口減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活力がない ・ 子供の声がない（子供がいない） ・ 人がいない、子供が少ない ・ まちの高齢化・老齢化 ・ 人口が減少しているのでは？ ・ 若者と子供、年寄りの割合は？ * 小児科がほしい！ * 若い人が増えるようにしてほしい！
子育て環境		<ul style="list-style-type: none"> * 子育て環境が今ひとつ！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 通過交通が多く、子供を遊ばせられない ・ 住宅の規模が若干狭い * 中学校の部活は統合した方が良いのでは？
生活利便性	<ul style="list-style-type: none"> * 医食住が充実している <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな病院が2つあり、安心 * 明親地区は場所に恵まれている（駅、歴史、運河…、） ・ マンション、スーパーがあり、便利なまち ・ 自転車で買い物ができる 	<ul style="list-style-type: none"> * 買い物が不便 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物に不便 ・ 店が少ない ・ 笠松商店街が淋しすぎる * 買い物の場所（朝市や大型スーパー） * 飲食店（喫茶店）、個人商店の閉店もさびしい <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 笠松商店街を活性化したい * バス道に面している店舗のシャッターを開けるようにしてほしい * 文化施設・福祉施設が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に使用できるコミュニティ施設、文化施設がない ・ 区民ホールのようなものがない * 文化施設が欲しい * 高齢者の生活、福祉
交通・移動	<ul style="list-style-type: none"> * 坂がない <ul style="list-style-type: none"> ・ 坂がなく自転車でOK ・ 土地の高低差がなく、平坦な道は自転車で移動しやすい * 地下鉄海岸線は便利！ <ul style="list-style-type: none"> ⇨ ただ、料金を値下げしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> * 南北交通の不便さ <ul style="list-style-type: none"> ・ 縦線の交通手段がない ・ 区役所に行くのが遠い * つながり、南北を一体的に！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫区の南北間に違和感有り、南に行くことが少ない * 南北交通が不便 <ul style="list-style-type: none"> ・ 南北の公共交通が不十分 ・ 橋によって孤立している ・ 住吉橋を低く、短く架けかえてほしい * 運河を渡る橋が高くて渡りにくい * 兵庫運河に架かる橋 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノンバリアフリー <ul style="list-style-type: none"> ・ 勾配がなく、歩道を広く ・ 住吉橋（歩道が狭い）

		<ul style="list-style-type: none"> * 住吉橋の架け替え（大変不便） * 地下鉄中央市場駅の改札が一つしかなく不便 * 大輪田橋の駐車問題 * 新川運河から市場に歩道橋を
コミュニティ・人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> * 下町らしい人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下町の雰囲気は今ももっている ・ 下町らしい人情のあるところ * 生活がしやすい * 高齢者が住みやすい * 人のつながりがある！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉センターを中心に、コミュニティができています * 地域住民の横のつながり <ul style="list-style-type: none"> ・ 庶民性、親しみのあるまち 	
安全・安心（防災・防犯）		<ul style="list-style-type: none"> * やはり津波がこわい！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波、防災 ・ 避難先（和田岬小学校、吉田中学校）が海の方になっている ⇒ 防災、津波対策はどうなっているのか？ * 最近は笠松地区の浸水がないようだが、本当に大丈夫？ * 密閉すると防災アナウンスが聞こえない * 高齢者の防災訓練が必要 * 津波などの具体的対策を * 津波時の避難場所に、市の建物も利用できるように * 商店街の衰退⇒治安の悪化も * 防災 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津波に強いまちに ・ 津波の避難場所 ・ 水門をつくる * 暗い場所が多い <ul style="list-style-type: none"> ・ 暗い場所が多いので、もっとまちに明るさを ・ カラフルな色を使用したまちに
まちのみどり公園	<ul style="list-style-type: none"> * 公園や花壇があって良い <ul style="list-style-type: none"> ・ 町の片隅に小さな公園が出来たことは良い ・ 花壇が多くあるように思う * ゆとりある公園 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームズスタジアム、御崎公園 ・ ホームズスタジアム東側の芝生広場 ・ ホームズスタジアム周辺の公園の緑化（桜） ・ 自動車の心配なしで運動できる ・ 広い公園がまちにゆとりをもたらしている ・ 公園の緑で季節を感じられる 	<ul style="list-style-type: none"> * もっと緑があれば… <ul style="list-style-type: none"> ・ 木影がない ・ もっと緑があるといい ・ 材木橋の南側の植栽が不満 ・ 清盛橋の南側の植栽が不満 ・ 新川プロムナードの植栽が今ひとつ ・ 清盛橋北東側スペースを花壇に * 緑、木々のある公園（一定の広いスペース）があるが、まち全体を見ると、昔からの工場地帯で緑が少ない * 緑が少ない

◎まちの将来像に関する意見

- * 幅広い世代が安心して住めるまち
 - ・各世代の住民が仲良く交流し、安心して住み続ける
 - ・若いファミリーも住んで、
- * 高齢者も安心して暮らせるまちであればいいな！
- * 職場、買物、運動、病院が近くにあるまち（コンパクトなまち）
- * 人の付き合いもあるエネルギッシュなまちづくりになってほしい
- * お年寄りと子供が仲良くできる町
- * 明るいイメージの「福祉」のまち
- * 下町ながらのご近所づきあいできる町
- * たくさんの人が訪れるまち
 - ・ただし住みよさは変わらない
 - ・だけど…若い人にも住んで欲しい
- * 若い人が住み、来るまち
- * 「観光」のまち
 - ・清盛のその後が重要
- * 観光客を呼べる町（人の動きが大事）
- * 元気でおしゃれなまちに！
- * 可能性がある地域
 - ・運河と和田岬線で活性化！！・・・未来へつなげる夢を！運河は財産！
- * 津の道に夜店ができて、多くの人がお参りしてくれたらいいなと思う
- * 三菱重工にリゾートホテルができてほしい

■第2回ワークショップで出された意見のテーマ別の整理

テーマ①：兵庫運河のさらなる活用

テーマ	出されたアイデア
水面利用の促進	<p>◎ボートやレガッタなど水上スポーツによる水面利用の促進</p> <p>*水面を利用するイベントや競技会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運河を利用したイベント（レガッタ等） ・レガッタに限らず水上スポーツを兵庫運河とする ・手づくりボートの競技 ・ボートや人力艇を利用 <p>*水上スポーツの活動拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レガッタの公式な競技を開催できる様に整備 ・レガッタ艇庫はあと3年でなくなるので、それまでに艇庫を作る ・水泳の授業（ハードなやつ）
親水性の向上	<p>◎親水性を高める陸地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が安全に水と親しめる場所、親子で遊べる場所の創設 ・魚釣りや水泳ができる場所を作る <p>◎親水イベント（運河を活用したイベント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫運河祭や清盛祭をもっと元気に！
魅力的な運河景観の形成	
運河の水質改善 水環境の向上 環境教育	<p>*真珠貝プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動範囲の拡大 ・環境教育として

テーマ②：周辺資源の活用

テーマ	出されたアイデア
歴史資源の活用	<p>◎“清盛”を活かすイベントをする</p> <p>*清盛と連動するイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色んな所に人がウロウロできる仕組みづくり ・歴史館を残す ・寺や神社、名跡などに、記念スタンプ設置「兵庫津スタンプラリー」 ・神戸の中心は“兵庫”を取り戻す ・和田神社や三石神社の活用
JR和田岬線	<p>◎和田岬線の活用方策</p> <p>*観光資源としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田岬線の日曜運行（清盛の間だけでも） <p>*和田岬線を残すなら、もっと美しく、利用しやすく沿線整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段が他にある中で残す意味は？ ⇒線路・電車の役割を変えていかないといけない ・和田岬線に沿って兵庫駅まで平坦な自転車道を整備 <p>*日常的な利用を促進する（和田岬線の運行強化）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・和田岬線の運行回数が増えれば利用者も増えると思う。朝晩の運行では… ・和田岬線に市電タイプの電車を 15 分～20 分ごとに動かす ・兵庫駅までに 5 つぐらいの駅を作る ・地域の人が利用できるような条件設定が必要 ⇨和田岬線は地域の住民の足ではない ・線路がなくなればそこにバスを走らせたなら
中央卸売市場 西側跡地の活用	<p>◎兵庫運河と兵庫津の道と中央卸売市場西側跡地の一体的な活用 ⇒大きいひとつの観光地に！</p> <p>*クラシック音楽を発信するイベント・会場（野外音楽堂等）をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽、特にクラシックを通じて、文化の発信地（核）を作る ・音楽祭の開催。クラシック他、文化を発信し、人集めする ・ホームズスタジアムで第九 ・公園・プールなど、子どもが遊べる遊園地（親も来る）
中部処理場跡地の活用	*コミュニティ施設（区民ホール）
空地の活用	*空地を農園、花畑に開放
ホームズ スタジアム	
ものづくりの まち	

テーマ③：地域における活動の活性化

テーマ	出されたアイデア
レガッタ	*レガッタのさらなるPR
地域の伝統行事の継承	<p>*お祭りの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同で開催してもいい ・出在家町の子供みこし、生田さんみこし、和田岬地域としての子どもみこし <p>*お地蔵さんMAP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの地蔵盆等があるところ
既存の活動の継続・活用	<p>*イベントをつづけることが大事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者を作っておく ・全住戸、他の町々に知られるように <p>*納涼寄席、浪漫号を使って実施</p> <p>*日曜の昼、各町で寄席を大学の落研と一緒に</p>

テーマ④：兵庫運河周辺地域の魅力の発信

テーマ	出されたアイデア
ホームズスタジアムのPR	

兵庫津の道のPR	
その他	<p>* 兵庫運河が核となり、文化・みどりのまちを発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫運河、核に活用（各施設・テーマ館） ・観光バスを入れる。神戸に呼び込む ・運河めぐり、兵庫津の道を合同で進める ・今一度兵庫を神戸の中心に戻す（明治文化まちづくりを行う） <p>* アナログのPRを！（高齢者はインターネットは見ない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レガッタや真珠貝プロジェクトを発信 ・生活に密着した掲示板を設置する

テーマ⑤：回遊性の向上（水面における回遊性と運河沿いの回遊性）

テーマ	出されたアイデア
兵庫運河の水面における回遊性について	<p>◎水上回遊ルートの設定</p> <p>* 水上を人力で廻れるようなルート（サイクリングコースみたいな）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人乗りカヌー <p>◎利用を阻害しているもの</p> <p>* 旋回橋が邪魔？⇒移設保存してもいいのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋回橋はボート、船など通れないので不要 ・回転していない⇒回らないんだったら、公園に移設して展示 ・旋回橋には資源価値もある
* 運河沿いの回遊性（プロムナード等）	<p>◎回遊性を向上させるためのプロムナード等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸辺の整備（並木道） ・運河の周りをぐるっと廻るジョギングコース（ホームスタもからめて） <p>◎回遊性を向上させるための拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺に憩える店（喫茶店等）がほしい ・プロムナード上に水上レストラン・カフェ ⇨病院が反対して実現できない？ ・住吉橋の陸地の橋桁部分を整理し、魅力ある空間を作ってほしい

テーマ⑥：生活環境の向上

テーマ	よいところ
まちの少子高齢化 ・人口減	<p>◎若い人に住んでもらうために！若い人に集まってもらうために！</p> <p>* 子育て環境、教育環境の充実</p> <p>* 人が住まないとお店は元気にならない</p>
生活利便性	<p>* 買い物施設の充実 ⇨地元のお店に影響ないか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型店舗、コンビニ、スーパー ・お店側からもアイデアを 限定販売に弱い！ 買い物のポイント制（価格以外で） 地域の特性に合わせた売り方（タマネギ1個から売ってる）

	<ul style="list-style-type: none"> ・有名店の出店（車で遠くから来る） ・日常的に地域の人を買えるよう、入りやすい中央卸売市場に（バス道沿いに出店） ・駐車場は必要 <p>* 買い物コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百年記念病院のバスを活用する（診察券で乗車できるようにする） <p>* 医療施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の小児科を建てる（個人病院…夕方もOK）
交通・移動	<p>◎南北交通の便の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基本はバス（特に区役所への路線の充実） * 渡りにくい橋の架け替え <ul style="list-style-type: none"> ・住吉橋を水平橋として架け替えを
安全・安心 （防災・防犯）	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板を増やす。防犯のために

◎第3回ワークショップ

兵庫運河周辺地域のまちの将来像のとりまとめ

運河支線北側突当り（増田製粉裏手）

現在のイメージ

- ええとこ！○
- 水が流れず汚い×
- 空気が澱んでいるイメージ×

兵庫駅南公園からのアプローチ

- 近いのにフェンスがあって行けない。勿体無い
- 兵庫駅南公園と運河を連結して、船の乗り降りができるようにする

音楽祭の開催

- 神戸クラシック音楽祭をこの点で考える。集合場所は地下鉄駅とし、会場まで船で行く

運河探検クルーズ

- カヌーで運河→新幹線こだまを見るツアー
- なかなか行く機会がないのでおもしろい

プロムナード

プロムナードを繋ぐ

- 運河沿いを繋ぐ
- 浜山小学校前プロムナードから清盛橋あたりまで、プロムナードの整備！
- 今あるテラスを活かしてプロムナードを
- 新川プロムナードから浜山プロムナードへの回遊路（遊歩道）
- 企業の協力、タイミングを見て

並木整備

- プロムナードに並木
- 運河沿いに緑を増やす
- 樹木の種類を考える
- 桜があれば外からもわざわざ見に来るのでは？（現在は船を浮かべても見える景観がない）
- お世話する人材の育成、システムづくりが必要

ランニングコース

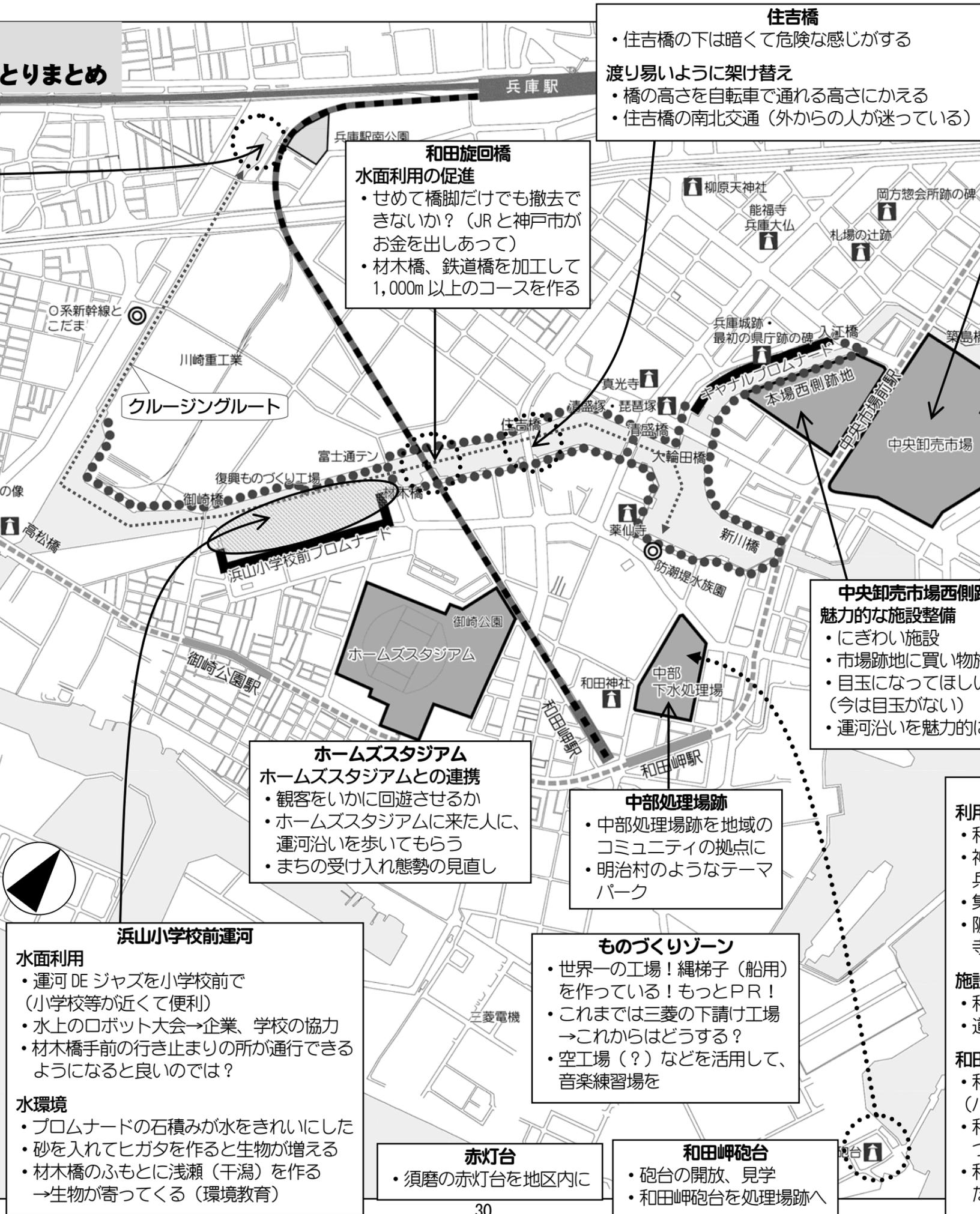
- 企業のランニングチーム多数
- 運河一周ランニングコース
- 距離表示

カフェ・レストラン等

- 運河沿いにカフェ
- 市民や住民がいこいの場所としてくつろげるカフェレストラン（清盛橋と住吉橋の南付近）

親水空間

- 運河沿いに親水公園
- 子どもが遊べる水辺



和田旋回橋

水面利用の促進

- せめて橋脚だけでも撤去できないか？（JRと神戸市がお金を出しあって）
- 材木橋、鉄道橋を加工して1,000m以上のコースを作る

住吉橋

- 住吉橋の下は暗くて危険な感じがする

渡り易いように架け替え

- 橋の高さを自転車で通れる高さにかえる
- 住吉橋の南北交通（外からの人が迷っている）

中央卸売市場

観光客向けレストラン

- 食べ物→レストラン
- キレイになったが、逆に入りにくい
- 兵庫運河に来たというスペシャル感を！

水面利用

乗船体験・ボート遊び

- レガッタの活動を見て、ボートに乗りたと思う人も増える
- レガッタは競技で、親しみがない→初心者でも気軽に楽しめるもの
- 穏やかな流れ→初心者用のボート
- ボート、カヌー、シーカヤック
- カヌーコース、運河周遊
- 手づくりボート
- いかだ遊び

屋形船・遊覧船の運行

- スポンサー付、広告付の屋形船（運河沿いの企業の協力）
- （東京では）スカイツリーを眺める遊覧船をつくっている
- 観光を主として遊覧船の運航→地域を紹介する
- なつかしの花電車バージョンで

地元向け水上交通機関

- 水上バス（市バス）の運行
- 買い物客を無料で乗せる乗物

水上レストラン

- レガッタ時等

中央卸売市場西側跡地

魅力的な施設整備

- にぎわい施設
- 市場跡地に買い物施設を
- 目玉になってほしい（今は目玉がない）
- 運河沿いを魅力的に

ホームズスタジアム

ホームズスタジアムとの連携

- 観客をいかに回遊させるか
- ホームズスタジアムに来た人に、運河沿いを歩いてもらう
- まちの受け入れ態勢の見直し

中部処理場跡

- 中部処理場跡を地域のコミュニティの拠点に
- 明治村のようなテーマパーク

ものづくりゾーン

- 世界一の工場！縄梯子（船用）を作っている！もっとPR！
- これまでは三菱の下請け工場→これからはどうする？
- 空工場（？）などを活用して、音楽練習場を

浜山小学校前運河

水面利用

- 運河DEジャズを小学校前で（小学校等が近くて便利）
- 水上のロボット大会→企業、学校の協力
- 材木橋手前の行き止まりの所が通行できるようになると良いのでは？

水環境

- プロムナードの石積み水がきれいにした
- 砂を入れてヒガタを作ると生物が増える
- 材木橋のふもとに浅瀬（干潟）を作る→生物が寄ってくる（環境教育）

赤灯台

- 須磨の赤灯台を地区内に

和田岬砲台

- 砲台の開放、見学
- 和田岬砲台を処理場跡へ

JR和田岬線

利用の促進

- 和田岬線を市電化して20分間隔で運行
- 神戸百年記念病院前や明親地区など、和田岬～兵庫駅間に駅を設ける
- 集客の足として地下鉄がもっと活用できるように
- 阪堺電車では広告ラッピング車両（天王寺⇄浜寺間）が運行。1両4万円で借りられます

施設整備

- 和田岬線存続を前提に、並行した遊歩道、観光
- 道路が分断→せめて踏切を！

和田岬線の廃止→回遊性の向上

- 和田岬線がなくなれば、南北の軸になる（バスを走らせるなど）
- 和田岬線が廃止になれば、運河沿いの遊歩道がつながる
- 和田岬線はなくなればいいが、相手もあることだから、できることから？

兵庫運河活性化会議委員

分野	組織	補職	氏名
地域	浜山地区まちづくり協議会	会長	櫻井 良和
		書記・会計	土見 和彦
	明親校区まちづくり協議会	会長	池本 重太郎
		会長代理	神崎 雄康
	和田岬校区防災福祉コミュニティ	相談役	上田 忠俊
		まちおこし部長	名村 広志
	浜山レガッタコース管理委員会	会長	井上 詔一
		総務担当	大道 公一
企業 (五十音順)	川崎重工業株式会社	人事総務部総務課長	小野 晃司
	神戸ウイングスタジアム株式会社	代表取締役社長	森 博之
	神戸商工会議所 中央支部	事務長	大原 哲誠
	西日本旅客鉄道株式会社 神戸支社	神戸駅駅長	小島 弘義
	富士通テン株式会社	総務部エキスパート	阿部 清文
	三菱重工業株式会社 神戸造船所	総務部総務課主任チーム総括	船越 圭三
	三菱電機株式会社 神戸製作所	総務部総務課長	原 賢治
学識経験者	神戸大学	准教授	三輪 康一
行政	国土交通省近畿地方整備局	神戸港湾事務所長	中島 靖
	神戸市企画調整局	みなと六甲摩耶・活力担当課長	久保田 裕二
	〃 環境局	水・土壌環境担当課長	岸本 綾夫
	〃 産業振興局	中央卸売市場本場 再整備担当課長	松浦 行雄
	〃 建設局	道路部計画課長	安福 教晃
	〃 建設局	下水道河川部計画課長	山地 健二
	〃 都市計画総局	計画課長	林 泰三
	〃 都市計画総局	計画部 まちのデザイン室担当部長	橋田 之宏
	〃 みなと総局	みなと振興部経営課長	安岡 正雄
	〃 みなと総局	計画課長	田中 誠夫
	〃 兵庫区	地域支援担当課長	矢野 真也
	〃 交通局	営業企画担当課長	亀山 寿仁
〃 教育委員会事務局	スポーツ体育課長	河辺 健一	
相談役	神戸大学	名誉教授	安田 丑作
	甲南大学	教授	西村 順二
コンサルタント	株式会社コー・プラン		吉川 健一郎